

# クサレダマ

*Lysimachia vulgaris var. davurica*

サクラソウ科



クサレダマの花

## 名前の由来

花色がマメ科低木のレダマに似ているが、草本であるということ  
で名付けられた。レダマは地中海沿岸地方およびカナリー諸島原  
産の移入種で、その名はRetama（ポルトガル語とスペイン語）か  
ら由来する。「腐れ玉」ではない。漢字名：草連玉

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ

## 形態的特徴

高さ40~100cmで茎は直立する。葉のふちに鋸歯はなく、滑  
らかで、柄もない。3~4枚ずつの葉が茎を取り囲むよう  
に輪生する。葉の裏面に黒い点がまばらにある。花は黄色

で5片に分かれ、径は1.2~1.5cm、茎頂に多数集まって円  
錐状につく。

類似種：特にない。

## 生育環境・分布

湿った草原や低地の林縁などに生える。

分布：国外分布は、朝鮮・中国・樺太・シベリア。

国内分布は、北海道・本州・九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、湿った草原や低地の林縁などに見られる。

## 生活史

開花時期：7~8月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■学名（属名）のLysimachiaはマケドニア王のリシマコスの名  
前を記念したもので、この種の草を使って獰猛な牡牛を鎮めた  
ということから由来する。vulgarisは「ふつうの」という意味。

## 配慮事項

生育している環境全体が重要である。



クサレダマ



実をつけたクサレダマ

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期					■							

## 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「図説 花と樹の大事典」 木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗  
柏書房 1996

「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅲ」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社  
1981